

県立高校の在り方に関する地区別情報交換会の実施概要

1 開催趣旨

今後の県立高校の在り方について、地域とともに検討を進めるため、各地区の県立高校の現状や課題について、地区関係者と情報共有を図る。

2 実施状況

開催日	地 区	参加者数		
		会 場	オンライン	小 計
10月16日（木）	太田・館林・邑楽①	46	9	55
10月21日（火）	伊勢崎・佐波	41	1	42
10月31日（金）	太田・館林・邑楽②	16	10	26
11月 4日（火）	藤岡・多野・富岡・甘楽①	24	9	33
11月 7日（金）	渋川・北群馬・吾妻	52	9	61
11月10日（月）	高崎・安中	56	6	62
11月11日（火）	藤岡・多野・富岡・甘楽②	18	9	27
11月17日（月）	沼田・利根	36	2	38
11月20日（木）	桐生・みどり	30	1	31
11月21日（金）	前橋	33	3	36
合 計		352	59	411

※ 太田・館林・邑楽地区及び藤岡・多野・富岡・甘楽地区は、同内容で2回開催。

3 参加者

(1) 地区代表

県議会議員、市町村長、市町村議会議員、市町村教育委員会教育長、農業協同組合関係者、商工会議所・商工会関係者、市町村小中学校PTA関係者、県立高等学校PTA会長・同窓会長、小中学校長代表、県立高等学校長

(2) 県

県教育長、振興局長、教育次長、高校教育課長、教育事務所長 他

4 主な意見（感想・要望等）

- ・高校の在り方検討は、早急に取り組むべき重要な課題であると感じた。
- ・各学校とも思い入れや役割があるため、地域の状況を踏まえながら進めてほしい。
- ・ゼロベースで検討いただけることは大変ありがたい。
- ・検討にあたっては、方針や原案を示してほしい。
- ・8地区に限定せずに柔軟に検討してほしい。
- ・産業界と連携した検討が必要である。
- ・急激な少子化の中、市立高校や私学とも連携しながら進めていく必要がある。

5 その他

- ・当日の資料は、県HPに掲載している。

<https://www.pref.gunma.jp/site/houdou/728645.html>

